

# 「事業名：浪江町をフィールドとした放射線研究・教育プログラム」 平成30年度補助事業の実績・成果

**弘前大学 連携市町村：浪江町**

**連携市町村との協定締結日：平成23年9月29日 現地拠点：双葉郡浪江町 浪江町役場健康保険課室内**

## 事業のポイント

浪江町内をフィールドとして看護学及び放射線技術科学を専攻する学部学生及び大学院生に対する新たな教育プログラムを立ち上げる。さらに、帰還後の住民や町職員の生活環境の改善・回復及び健康管理を目的とした調査研究を浪江町内において実施し、その結果を住民に還元する。また、浪江町に居住されている町民のうち、独居男性高齢者をターゲットに社会参加を促す取り組みも実施する。

## 今年度の活動実績

浪江町内において、以下の教育研究活動を実施した。（主なもの）

- ・ 8月31日 浪江町幾世橋集合住宅集会所にて、独居男性高齢者の社会参加を促すための方策として、サロンを実施した。〔本学教員3名、浪江町地域包括支援センター職員1名参加〕以降3回実施した。
- ・ 9月4日～5日 浪江にじいりこども園周辺にて、園児の日中の戸外活動中（散歩コース）の空間線量の測定を行い、空間線量・汚染検査のデータの取りまとめを行った。〔本学教員1名参加〕
- ・ 10月22日 浪江にじいりこども園にて、子育てサロン「ぼかぼかテラス」への支援を行う活動の中で、教育プログラムによる支援実習も実施した。〔本学教員5名、学生3名参加〕
- ・ 11月24日～25日 浪江町十日市にて、健康不安がある住民への健康相談、動脈硬化・骨密度・筋力測定等健康チェックを行う活動の中で、教育プログラムによる支援実習も実施した。〔大学教員4名、学生7名参加〕
- ・ 11月29日 浪江町役場1階行政相談スペースにて、浪江町職員への健康相談を行う中で町職員との交流を通して行われる看護活動を経験する実習も実施した。〔本学教員3名、学生3名参加〕
- ・ 12月14日 浪江町（弘前大学浪江町復興支援施設）に環境放射線モニタリングシステムを構築し設置した。〔本学教員1名、学生2名参加〕



## 今年度の成果

浪江町内をフィールドとして看護学及び放射線技術科学を専攻する学生に対して新たな教育プログラムを立ち上げたことにより、学生18名が現地にて実習を行い、看護学では直接現地に赴いて学生がそれぞれ住民らの対応を行えただけでなく必要な支援について考える機会となり、放射線技術科学では空間線量率のモニタリングシステムを浪江町内の施設敷地内に設置するとともにデータ転送システムを構築した。

帰還後の住民や町職員の生活環境の改善・回復及び健康管理を目的とした調査研究を浪江町内において実施したことにより、野生動物から身を守るための動物由来感染症対策ハンドブックを発行した。また、浪江町に居住されている町民のうち、独居男性高齢者をターゲットに社会参加を促すためのサロンを計画し、参加者のニーズを探りながら継続して実施した。

教育プログラム		延べ人数
看護学	教員	12名
	学生	16名
放射線技術科学	教員	2名
	学生	2名